

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年11月10日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673000107
法人名	医療法人 誠心会
事業所名	グループホーム あったかハウス伊集院 (ゆめ)
所在地	鹿児島県日置市伊集院町下神殿1366番地1 (電話) 099-272-7577
自己評価作成日	令和元年11月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和元年12月9日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

あったかハウス伊集院は「ゆっくり、ゆったり、けれどももしっかり」の理念の基に日本一やさしい施設を目指しています。18名の利用者様が1人1人個性を活かせるようスタッフが仲良く協力しながら支えています。食事面では地域の方やご家族様より旬の野菜を頂いたり庭の畑で栽培した野菜を使って季節感を取り入れた食事を提供しています。行事で作る手作りおやつも「美味しい」と大好評です。地域との関係性も良く、手作りの野菜をいただいたり地域交流会などのホームでの行事に参加してもらったり地域の運動会等の行事に参加させてもらったりしています。認知症の症状や問題点など個別に対応しています。協力医療機関として、ゆのもと記念病院、まえはらリハビリクリニックがあり医療との連携も十分で24時間体制で診察も受けられ安心して生活を送ることが出来ます。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ミーティングや申し送り時に復唱し毎日理念に触れる様にしています。職員全体で具体的なケアについて話し合い、意見の統一を図っています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会長さんから声を掛けていただき、利用者様と交流していただいています。事業所の行事等にはいきいきサロンなどを通して民生委員さんから声掛けをしてもらい地域の方々に参加していただいています。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	ご家族様の方からの相談などに対応しています。また地域の中学校の職場体験や高校の実習、ボランティア等、積極的に受けいれています。地域の会合、様々な研修に参加し認知症ケアの啓発に努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度開催し、行政、地域代表、家族代表の方、利用者様等に参加して頂き前回の会議で取上げられた検討事項や懸案事項についてその経過を報告し質問や意見、要望を受けるようにしています。話し合った内容は記録に残し全職員が周知出来る様にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議では行政の方から市で行う研修の案内を聞いたり、地域交流会等の行事では社会福祉協議会の方と連携を図りボランティアの方を紹介していただいています。またグループホーム連絡協議会に参加させていただき事業所の実情や取り組みを伝えています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月身体拘束委員会を開いています。また毎朝の申し送り、毎月のミーティングで気づかない内に身体拘束になっていないかを話し合っています。常に目配りに努め身体拘束をしないケアに努めています。		
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月、委員会を開き、虐待をしていないか確認をしています。また法人内で行われる研修にも積極的に参加し高齢者虐待防止法に関する理解、浸透や遵守に向け虐待の防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	事業所でも勉強会を開いたり、また法人内で行なわれる研修にも出来るだけ参加をし理解を深めるようにしています。対応が必要と思われる利用者様がいらっしゃる場合は随時、職員に説明、アドバイスを行ないながら利用者様の支援に結び付けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時にご利用者様、ご家族様に時間を十分にとりいただき、利用料金や起こりうるリスク、重度化や看取りについての対応、医療連携体制、退居を含めた事業所の対応可能な範囲について詳しく説明し同意を得るようにしています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時にご家族様、利用者様にご意見やご要望がないかお聞きしています。玄関先にはご意見箱を設置しています。定期的に運営推進会議や家族会を行ないご意見をお聞きしたりアンケートをとりその後の運営に役立てています。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎日の申し送りや月1回のミーティング時に要望や意見を聞いたり、日常会話の中から職員の意見や提案、苦情等を聞き、働きやすい職場作りを日々努めています。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>法人をあげて職員の資格取得に向けた支援を行なっています。スタッフ同士協力し合い、やりがいや向上心を持って働ける職場作りを心掛けています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修には出来るだけ対象に沿った職員が参加できるように、また全職員が色々な研修に参加できるようにしています。研修に参加した際には毎月のミーティング時に発表してもらい報告書は全職員が閲覧できるようにしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市のグループホーム連絡協議会に参加をし関連の事業所や他のグループホーム等と交流を持ち職員同士で日々のサービス等について意見交換を行い質の向上に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用の前によく話し合い、利用者様が安心して生活できるようにご本人、ご家族様との信頼関係作りに努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>面接時に不安なことに耳を傾けながら今後の要望やこれまでのご苦勞などをお聞きし、信頼関係作りに努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>サービス利用の前に今までご利用されていたサービス提供事業所の職員から現況をお聞きしたりご本人、ご家族様から情報収集を行い、ご本人に必要なケアを見極め状況に応じた対応が出来るよう努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>人生の大先輩として敬い、生活を共にする者同士として、何でも話し合える家族のような信頼関係を築けるよう心掛けています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話等で利用者様の近況や体調に関する事等をお伝えしています。年に数回ある催しなどに参加して頂くことで情報交換を行い共にご本人を支えていく関係を築いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様や友人、知人の方々が面会に来られた時はお茶をお出ししゆつくりと談笑していただける場所を設定しています。またご家族様が馴染みの場所にお連れ出来るように支援しています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの利用者様が穏やかに過ごす事が出来るように、職員が間に入り話を聞いたり相談にのったりしながら利用者様同士の関係に配慮をするように心掛けています。また、利用者様が孤立してしまわないよう支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	地域の方々が多いので、お会いした際は、常に声掛けをしています。季節の野菜や果物を頂くこともあります。ご家族様からの相談にのったり、サービス終了後も本人、ご家族様との関係を大切にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で会話、表情等をくみ取り、希望や意向を確認するようにしています。意思疎通の困難な方にはご家族様を交えて検討しています。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用時にご本人、ご家族様から今までの生活歴などを細かく聞きとる様にしていきます。また、面会時や日常会話の中でも把握するように努め、日々の生活を楽しんで頂ける様心がけています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様一人一人の過ごし方を理解し、出来る事はお手伝いをしていただく。一つ一つの動作や行動を感じ取り、現状の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族様には日頃の関わりの中で意見や要望をお聞きし、職員全員で情報交換、連携を行っています。それを基に入居者様に合った介護計画作成をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の中でご本人様の状態変化、言葉等、気付いた事を個別記録に記録し全職員がいつでも把握出来るようにし、情報の共有、介護計画の作成の見直しに活かしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人様やご家族の要望に柔軟に対応し、個々の満足度を高めるよう支援しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>利用者様が安心して地域での暮らしが続けられるよう警察の方が巡回で来て下さったり、民生委員、自治会長、介護相談員、社会福祉協議会等の協力をお願いしています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>まえはらリハビリクリニック、百花クリニック、ゆのもと記念病院と医療連携を図っています。また入所前からのかかりつけ医についてもご本人、ご家族様から聞き取り、連絡を取り合うにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携を結んでいる看護師と連携を取りながら、日頃の健康状態や医療面での個々の様子や状況等を報告、相談しています。利用者様が安心して過ごせるよう、医療的な支援を行ってもらっています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には詳しく情報提供を行い病院との連携を十分に図っています。入院中も足を運び、利用者様の状態の把握に努めるよう心がけ、元気になって早く帰ってこられるよう声掛けしています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合や終末期の希望などを所定の書類を基にご家族様、ご本人に説明しています。また聞き取りを行い、ご本人、ご家族様の意向を十分に踏まえた支援を行える様にしています。主治医、ご家族様、職員が連携を図り安心して最期を迎えられる体制を整えています。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年間研修の中で取り入れたり、詰所に緊急時のマニュアルを貼付し、全職員が確認・対応出来るようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域の方達には2ヶ月に1度の運営推進会議の時や地域交流会の時に参加の声掛けをしています。年に一度は消防の方にも運営推進会議に出席していただきご意見をいただいています。年2回の消防訓練を利用者様、全職員と一緒に実施しています。（うち1回は夜間想定）</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレ等の声掛けの際はご本人だけわかる位の声の大きさと声掛けし誘導しています。こちらの業務に合わせるのではなく、ご本人のペースに合せた対応が出来る様に努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様、それぞれにあった声掛けを行い、ご本人が自己決定出来る様にし、また出来るだけご本人の希望に添えるよう対応しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の気分やお一人お一人のペースを大切にしながら、可能な限り個別性のある支援が出来るよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎日の着替え等は基本的にはご本人の意向で決めています。自己決定が難しい利用者様にはご本人の好みを考慮して一緒に考えご意向に添った支援が出来るよう努めています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえを手伝っていただいたり食事の後片付け（お盆拭き、テーブル拭きなど）を一緒にしていただいています。一緒に話をしながら食事をし、会話の中でお一人お一人の好みなどを聞き出したりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	好き嫌いを把握し嫌いな献立の時には別メニューを提供しています。水分が少ない方にはお茶以外の飲み物などを準備して小まめに水分補給をしていただいています。嚥下状態の悪い方には水分にとろみをつける、ミキサー食やゼリー食を提供するなど個々に合わせたメニューをお出ししています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、職員の声掛け、介助により口腔ケアを行なっています。夜間は義歯をお預りし、消毒をしています。毎月1回は訪問歯科にて義歯の清掃や口腔内チェックを行い、個別にアドバイスをしていただいています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	夜間オムツを使用される方であっても日中は声掛けを行いトイレ誘導を行なっています。また排泄パターンを把握し、こちらから声掛けを行ない、排泄の失敗が減るようにしています。排便が数日ない方もトイレ誘導を行ない腹圧がかかるよう援助し排便が出やすくなるよう支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分不足にならないよう小まめな水分補給を促したり、食事などにも工夫をし、便通がよくなるよう心がけています。また便秘気味の方は主治医に相談したりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者様の生活習慣や希望に合わせて入浴していただいています。入浴拒否がある利用者様に対しては時間をおいて声掛けしたり声掛けする職員を替えたりするなど工夫しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様お一人お一人の生活習慣を把握し日中休息を取り入れたり夜間眠れない利用者様には原因を見極め安心して眠れるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様が服用されている薬を職員全員が処方箋に目を通し内容を把握しています。薬の処方や用量が変更された時はご本人の状態を詳細に記録をとり医療機関と連携を図れるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの能力を把握し、残存機能を活かした作業を職員と一緒にさせていただくよう心がけています。また手伝っていただいた後は感謝の気持ちを忘れずお伝えしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご本人の希望や気分に応じて敷地内を散歩したり、行事の時など、一緒に菜園や花壇の草取りをしていただいています。またご家族様の協力を得て外出や外泊などされています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族様への同意、協力を得てお金を所持されている方、また事業所が管理している方とそれぞれですが利用者様が必要な物を購入できるように支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族様やご友人などに電話しやすい雰囲気作りや電話の設置場所の工夫、ご本人が出来ない時は希望に応じて取次ぎをしています。手紙の代筆も併せて支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花や行事等に合わせた飾り付けを行い、季節感を感じていただける空間作りをしています。また入居者様同士がコミュニケーションを取りやすい話題を提供し、居心地良く過ごせる工夫を行っています。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>両フロアーのスペースがある所にソファを置いたりテーブルや椅子を置くことで、一人で過ごされる方や利用者様同士でコミュニケーションがとれるように居場所作りに努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様に馴染みのある日用品や家族写真の貼付、テレビを置いたり等、利用者様のライフスタイルに合わせた環境作りを一緒に行い、居心地良く生活出来るよう配慮しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お一人お一人の能力を把握して利用者様同士の関係性などにも配慮しながら出来る仕事をしていただいています。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない